

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 5 年度

市町村名	吉見町			
提案事業名	交流・関係人口創出のためのフレンドシップ・ハイツよしみ再生整備事業			
事業期間	5 年度	～	5 年度	
事業の必要性、目的	<p>人口減少傾向が続く中、町の活気・経済的な活力が維持されていく町、一人ひとりが主役となる町を目指して、町の強みである農業・里山・スポーツをとおして交流人口・関係人口増加に繋がる取り組みを実施している中で、来町者の滞在日数確保のための宿泊施設の確保・整備が必要との問題意識を持っている。</p> <p>また、強みの一つとしている里山事業に関しては、パンフレットの作成・配布により担い手の継続的な確保に繋げていくことを目指している。</p>			
成果指標	<p>(成果を検証する指標)</p> <p>フレンドシップハイツよしみ宿泊客数 (月間)</p>			
	<p>(成果検証の具体的な方法)</p> <p>宿泊施設運営会社の営業報告をベースに検証する。</p>			
	<p>(上記の指標を設定した理由)</p> <p>交流人口・関係人口増加に繋げるための根幹をなす指標であることから、本件の成果指標としたもの。本事業完了後、フレンドの改修工事を令和6年度に行い、令和7年4月再稼働予定としていることから、目標値設定時期は再稼働から1年後の令和8年5月としている。</p> <p>コロナ禍に伴う利用者激減により令和4年4月から休業している本施設の現況を踏まえ、リニューアルオープンから1年後、まずはコロナ前水準に戻すことを目指すこととする。コロナ前3年間 (平成29年度～令和元年度) の月平均宿泊客数に比し2.5%増を令和8年5月時点の目標とし、その後の更なる利用者数増加につなげる。</p>			
	<p>(成果の目標値)</p>			
	<p>現状値 (平成29年度～令和元年度3年間の月平均宿泊客数)</p>	1,514人	<p>目標値 (8年5月時点)</p>	1,550人
	<p>(施設建設等の場合)</p>			
年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)		
住民への公表方法及び特記事項	吉見町HPならびに広報誌への掲載により公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和 5 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費 (千円)
① フレンドシップハイツよしみ再生事業における実施設計	ソフト 交流人口・関係人口増加を目指す中で、来町者の滞在日数確保のための有力手段としてのフレンドシップハイツよしみ再生の実施設計である。 当該設計が優れていて現実的であることが、成果指標達成の鍵を握っているものと考えている。	40,000
② 里山事業関連のパンフレット作成ならびに印刷	ソフト 当町の強みの一つである、里山関連事業を広く企業・自治体・個人にアピールすることを目指している。 これにより、交流人口・関係人口増加の一助となりうるものと思料する。	500
③		
合計		40,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	宿泊施設運営会社と連携・協力を強化する中で、吉見町の強みを活かし、農業・里山・スポーツを中心としたイベント・研修・体験会等の企画や、都市近郊である強みを活かした企業研修誘致策の企画等を継続し、HP・SNS等各種媒体での告知に努める。
成果指標の達成見込み	令和7年4月再稼働の予定であり、稼働後1年後の目標値として設定しているが、上記取り組みにより十分達成は可能と見料する。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。